

## 「アセットオーナー・プリンシプル」の各原則および当社の取組み

SOMPO ひまわり生命保険株式会社（以下、当社）は、「アセットオーナー・プリンシプル」の趣旨に賛同し、お客さま、社会が求めている安定的な保険制度の運営に向けて受益者等の最善の利益を勘案し、その資産を運用する責任を果たすために、これを受け入れることを表明します。

当プリンシプルの原則 1 ～ 5 に対して、以下の通りの方針で取り組んでいきます。

原則 1. アセットオーナーは、受益者等の最善の利益を勘案し、何のために運用を行うのかという運用目的を定め、適切な手続に基づく意思決定の下、経済・金融環境等を踏まえつつ、運用目的に合った運用目標及び運用方針を定めるべきである。また、これらは状況変化に応じて適切に見直すべきである。

### <当社の取組み>

- 当社は、ALM（資産と負債の総合管理）を重視した資産運用を行っており、安定的な収益確保・流動性確保に留意し、将来の保険金等を確実にお支払いすること、および中長期的な純資産価値の拡大に向けて資産運用を行っています。
- 資産運用に関する方針を踏まえ、中長期的な視点を考慮しつつ資産運用計画等を策定し、市場動向等を分析・勘案しながら投融資を実行しています。また、資産運用状況の検証を適切に行い、必要に応じて資産運用計画等の見直しを行います。これらの計画等の策定・変更は、取締役会等の適切なガバナンスの下で意思決定をしています。

原則 2. 受益者等の最善の利益を追求する上では、アセットオーナーにおいて専門的知見に基づいて行動することが求められる。そこで、アセットオーナーは、原則 1 の運用目標・運用方針に照らして必要な人材確保などの体制整備を行い、その体制を適切に機能させるとともに、知見の補充・充実のために必要な場合には、外部知見の活用や外部委託を検討すべきである。

### <当社の取組み>

- 当社は、投融資の配分計画を策定し実行する部門、投融資に関する審査・事務処理等を行う部門を専門部署として設置しています。また、社内規程において運用担当責任者の権限を明確化するとともに必要な人員の確保および運用体制の整備を行っています。
- 専門的知見を高めるため、証券アナリスト等の資格取得の推進、資産運用に関する外部研修・セミナーへの参加等による人材育成のほか、社内公募制度や中途採用による適性がある人材の獲得等により、持続的な運用体制の整備に努めています。
- 必要に応じて社外知見の活用や専門性の高い領域等において外部に資産運用を委託しており、その場合は上記専門部署の双方にて委託内容の適切性を確認しています。

原則 3. アセットオーナーは、運用目標の実現のため、運用方針に基づき、自己又は第三者ではなく受益者等の利益の観点から運用方法の選択を適切に行うほか、投資先の分散をはじめとするリスク管理を適切に行うべきである。特に、運用を金融機関等に委託する場合は、利益相反を適切に管理しつつ最適な運用委託先を選定するとともに、定期的な見直しを行うべきである。

<当社の取組み>

- 当社では、将来にわたり保険金等を確実にお支払いすることを念頭に置き、資産運用計画の策定等を通じて、適切な運用方法を選択しています。資産運用計画においては、各資産の配分計画を定め、投資先の分散を行うとともに、リスク管理部門によるリスク検証を実施しています。また、新たな資産運用手段を導入する場合は、経営に及ぼす影響の重要性に応じて承認を受け、適切なリスク管理態勢・手法などを決定したうえで、投資を実行します。
- 保有する資産・負債の価値が変動することによる影響について、VaR 等のリスク指標算出やストレステストの実施を通じて把握し、適切なリスク管理を実施しています。
- 運用対象ごとの資産特性に応じて外部委託の選定基準を定めており、定期的にモニタリングを実施することで利益相反や自主運用にない固有のリスクを適切に抑制・管理しています。

原則 4. アセットオーナーは、ステークホルダーへの説明責任を果たすため、運用状況についての情報提供（「見える化」）を行い、ステークホルダーとの対話に役立てるべきである。

<当社の取組み>

- 当社は、「SOMPO グループディスクロージャー基本方針」に則り、お客さま・株主・投資家などの皆さまをはじめとするさまざまなステークホルダーに対して、当社の経営状況や各種の取組み状況などに関する情報を適切にご理解いただけるように、適時・適切な情報の開示に努めています。資産運用の状況についてはディスクロージャー誌において情報提供を行っています。

※「SOMPO グループディスクロージャー基本方針」は以下に掲載しています。

- SOMPO グループディスクロージャー基本方針  
<https://www.sompo-hd.com/company/disclosure/policies/>

※「ディスクロージャー誌」は以下に掲載しています。

- ディスクロージャー  
<https://www.himawari-life.co.jp/company/ir/disclosure/>

原則 5. アセットオーナーは、受益者等のために運用目標の実現を図るに当たり、自ら又は運用委託先の行動を通じてスチュワードシップ活動を実施するなど、投資先企業の持続的成長に資するよう必要な工夫をすべきである。

<当社の取組み>

- 投資先企業の企業価値の向上や持続的成長を促す取組みの意義や重要性を十分に認識したうえで、主に運用委託先の行動を通じてスチュワードシップ活動を実施していきます。
- 当社では、SOMPOグループが掲げるグループサステナビリティビジョンに基づき、「社会的責任の遂行」を経営基本方針の一つに掲げ、SDGsの達成に貢献することを目指す「SDGs経営」を推進しています。その一環として ESG に配慮した投資を行っており、当該取組を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※グループサステナビリティビジョンは以下に掲載しています。

- グループサステナビリティビジョン

<https://www.sompo-hd.com/csr/system/vision/>